



史学会歴史探訪 生田地区への史跡めぐり

6月18日(日)



第 749 号

発行人●豊丘村 公民館
館長 市澤和宏
編集人●長野県下伊那郡
豊丘村 公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村

(7月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,278人
女 3,291人
総人口 6,569人
世帯数 2,229戸

史学会歴史探訪 縄文時代から近現代まで歴史を堪能

小園 大澤俊郎

天候にも恵まれ、恒例の豊丘史学会歴史探訪が行われた。新型コロナウイルスの影響を受けることなく、大勢の参加者を集め隣の松川町を巡るコースで実施された。山あいにはひっそり佇む石仏や県宝、史跡、太平洋戦争の爪痕など多くの見所を回った半日の史跡巡りは、参加者の知見を広げ、そして山あいで森林浴で心を癒やす事となったに違いない。

案内説明役の郷土史家酒井幸則さん(林里在住)の判り易い解説に納得。

平安時代(二一〇〇頃)の作で飯伊地方最古の仏像との事、皆フーン?…

次は部奈へ移動、「前田遺跡配石遺構」を見学、「不規則に並べられた石は、出土した土偶や石棒などの呪術用具で、四千年前縄文時代の人が先祖霊の祭り等を行なった広場らしい」との酒井さんの説明にへエーっと納得。

バスは狭い山道を中山へ。古くから大鹿地域と飯田方面、天竜川沿岸地域との人々の往来の道(往還道)は、大河原(天鹿村)から折草峠を経て生田の柄山、中山、長峰、間沢への尾根道が、主要路線として利用されてきた。この尾根道の安全のため「道祖神」や「山道観音」「馬頭観音」を祀ってきたので、中山には石仏群や西国三十三観音を勧請した江戸中期(一七八四)に「大中山金剛庵」が建立されている。

生田地区めぐりの最終は戦争末期(昭和十九年八月)に塩倉集落へ墜落した、陸軍戦闘機墜落事故現場への慰霊だった。

長崎県出身の澤田熊雄伍長(二十二才)は、戦況悪化により宇都宮航空隊から戦闘機輸送のため操縦した三式戦闘機「飛燕」が、輸送途中エンジン故障のため墜落死したとされている。

機体の残骸は松本飛行場の部隊が大型トラックで回収していったが澤田飛行士の遺体はそのまま、地元警防団により現地で茶毘に臥され、生田村役場は、現地に「澤田熊雄遺難の地」と記した墓標を立てた。

昭和五十四年(一九七九)七月、三十七回忌の事で澤田家から四人が、塩倉を訪れた。

平成十八年(二〇〇六)五月には、長崎から澤田遺族関係者十二名が来訪し、塩倉の皆さんとの合同法要を行なった。当時の模様はテレビ、新聞にも大きく取り上げられた。

生田史跡めぐりを終えた一行二十八名が「ゆめあるて」に帰ったのは十一時五十分だった。

みな口々に「今日は良かった、楽しかった」と。酒井幸則さんのわかりやすい説明と、細い山道を、絶妙のハンドル裁きで運転してくれた武田徹さんに感謝、感謝!

豊丘史学会と公民館共催の松川町生田地区への史跡めぐりが六月十八日(日)二十八名の参加にて行なわれた。昨年の大島地区に続いて松川町への史跡めぐりは二回目となった。

午前八時「ゆめあるて」を出発したマイクロバスは県道を福与まで進み、「円満坊」にある県宝に指定(昭和四十六年)されている木造阿弥陀如来坐像を拝観、

バスは狭い山道を中山へ。古くから大鹿地域と飯田方面、天竜川沿岸地域との人々の往来の道(往還道)は、大河原(天鹿村)から折草峠を経て生田の柄山、中山、長峰、間沢への尾根道が、主要路線として利用されてきた。この尾根道の安全のため「道祖神」や「山道観音」「馬頭観音」を祀ってきたので、中山には石仏群や西国三十三観音



前田遺跡配石遺構にて

公民館学習会

音楽を通じたつながり

第二回公民館学習会は六月二十二日、ゆめあるてで行われました。講師に飯田市民館ムトスぶらざ創発コーディネーターマナージャーの桑原利彦さんを迎え、「音楽を通じたつながり作り」と題し、お話と音楽を聞きました。

飯田市民館は昨年飯田駅前のムトスぶらざに移転しました。桑原さんはそこ

で若者たちとふれあひながら感じたさまざまなことを一時間半にわたって話しました。

飯田市には世代ごとに多くの団体があり、りんご並木などを通じた活発な活動があります。若い人たちと年配のグループとの摩擦があったとしても、何かのきっかけがあれば分かり合えるとのこと。年配者は「今

の若い者は」と言いがちですが、それはただルールやマナーを教えないだけかもしれません。

コロナ禍で加速したオンライン会議は、リアルに直面する機会を減らし、体温のある言葉のやり取りがなくなっています。桑原さんは言葉を交わすことで「それぞれの世代のいいところを見るようになる」といい

ます。

また、音楽を通じて若い世代と深く関わっている経験から、彼らに「年配の人の前で演奏する時は必ずその年代の人が知っている曲も入れること」と指導しています。お互いに喜んでもらうことが理解につながるそうです。

話の合間には桑原さんのギターと中島華歩さんの(飯田市)の歌が入り、聞く人を飽きさせませんでした。

学習会に参加した女性には「いい話が聞けてよかった。若い人と大人世代のギャップは昔から言

われてきたことだが解決策が見えた。中島さんの歌声にも心が浄化された」と話していました。

(主生雅穂)



段丘

東京オリンピック・パラリンピック、北京冬季オリンピック・パラリンピック、サッカーのワールドカップ、野球のWBCと、スポーツの祭典が続き、日本中が興奮と感動に沸いた。次は、七月の女子サッカー・八月のバスケットボール・九月のラグビーのワールドカップである。躍動感溢れるプレーと熱戦を期待したい。

団体競技には個人競技にはない魅力がある。それは、チーム力・チームワークである。一人二人の不調や失敗を皆でカバーする。声を掛け合い自身と仲間を鼓舞する。一致団結、連携し連帯していく。頂点に立つには個々の力量はもとより、チーム力・チームワークが不可欠だ。そこに個人競技とは違うおもしろさがあり、団体競技ならではの感動も生まれる。

チーム力・チームワークは、地域活動、地域の活性化にも通じる。ラグビーを象徴する言葉「ワンフーオール、オールフーワン」(一人はみんなのために、みんなが一つののために)は正に言い得ている。皆で知恵を出し合い、分担して汗を流し、事に当たる。それぞれの立ち位置・ステータジで引っ張れる人は引っ張る。引っ張れない人は参加する。参加できない人は気持ちを支える。一人一人が当事者意識を持って行動することが大事である。そこに信頼や絆も生まれる。

(小池光好)

『SDGsをもっと知ろう！個人の力を信じて』

公民館長 市澤和宏

前回から特集記事で一回間隔が空きました。

実はこの間、「共感した！」との反応が数多く寄せられました。この連載の反響はありましたが、今回が今までで一番でした。

SDGsを知っているようでよく分かっていないんだ、と感じておられる方が多く存在する事実を実感いたしました。なぜなのか？皆さん一緒に考えてみて欲しいと思います。

前回書きましたがコロナウイルスへの危機感との違いなのかもしれません。言葉を変えると切羽詰まっていけないのでしょうか？今を生きている私たちに

もっと知ることです。SDGsの理解を深めるため、反復して学習し続けたいといけないと思っています。

コロナ禍では眼前の問題でいつ感染してもおかしくない状況に置かれ、私たちは必然の危機感を抱いていたはず。

子や孫の時代に、人類が生きていくための母なる地球がその条件を満たさなくなるとしたら、コロナパンデミックは悲しい出来事でしたが、誰かが感染し亡くなった程度の問題ではなく、それが地球規模の問題でなくなるのです。地球上で暮らす人類が等しく生きられなくなるのです。

それを食い止めるために今から対策をし、現在でも病んでいる地球がこれ以上悪化しないよう、みんなで行動を起こすための目標がSDGsなのです。

SDGsは世界の・そして地球の目標です。身近な問題ではなく地球規模の問題なのです。この問題解決には国や企業や個人の力を結集しなければなりません。個人の力は本当に微力だと思えます。日本の長野県の豊丘村に生きている私たちにできることは何なのか、皆さんとの勉強会でお話しはしていますが、世界中の個人の力がたまれば大きな力になるのではないのでしょうか？そのために地域住民の皆さんにSDGsの理解を深めてもらいたいのです。自分ができるとは本当に小さな力ですが、世界中の個人の力が一つになれば大きな力になることを信じ、公民館として住民の皆さんに理解を深めていただくべく、発信し続けて参ります。

第26回 村民ゴルフ大会 4年ぶりの懇親会開催

六月十三日火曜日、豊丘村民ゴルフ大会が催されました。梅雨に入り雨の日が続く中、この日は青空が広がり、天気に恵まれた日となりました。百五十七名という多くの方に参加いただき、久しぶりに顔を合わせた方々が挨拶をかわし、ゴルフを楽しんでおられました。

今年は、懇親会が四年ぶりに開催されました。懇親会は、大いに盛り上がり皆さんに交流していただきました。

- | | |
|-----------|----------------|
| 優勝…松澤 良和 | 5位…荒川 誠 |
| 準優勝…中平 翔悟 | 6位(当月賞)…池野 克浩 |
| 3位…砂場 雅俊 | 7位…山口 英夫 |
| 4位…壬生 寛 | 8位…竹村 敬春 |
| | 9位…片桐 明夫 |
| | 10位…武田 徹 |
| | 特別賞(女性一位)…福沢 恵 |
| | ベストグロス賞…荒川 誠 |
| | イーグル賞…松澤 良和 |
- (敬称略)



優勝した松澤さん(右)

夢みた遠か地平線 希望と共にあるはず だった美術大学

北市場「福澤郁文

武蔵野美術大学は小平市郊外の畑のなかにあった。キャンパスは広く、緑の芝生にギターをかき鳴らしフォークソングを唱う学生たち、ミニスカートやベルボトムのGパンが流行っていた時代。美大の学生たちは華やかだった。大学では実技を中心に、デザイン論から絵画論までドイツに始まった「環境や建築をはじめとするすべての芸術の統一性を求めた『バウハウス理念』」なども学ぶ。すべての講義の時間が芸術に関するもので、私にとつては夢のような空間と時間がそこにあった。しかし、大学を取り巻く環境にも社会にも、不穏ともいえる気配が漂いはじめていた。

『大学紛争』と呼ばれた時代

一九七〇年当時、日本は高度成長時代をむかえたが各地に公害問題がおき、環境問題が深刻化し、石油危機はじめ社会に歪みがおきつつあった。米国によるベトナム戦争、成田空港建設にとまなう三里塚農地への強制執行、米国の安保条約改定など政治的な問題も起きていた。

日大では使途不明金をめぐり大学閉鎖。東大でも医学部インタン制度撤廃から全学を巻き込む闘争へと激化していく。紛争の火の粉は全国の大学に拡大し吹き荒れていった。その全共闘運動は、それまでの権威主義的な大学の在り方を揺さ

ぶるような問題提起を、さまざまな形でうちだしていった。

自主カリキュラムを

武蔵野美大では『秋の芸術祭』を学生主体の企画で開催するが、従来通り企業向けのデザイン課題など、学習成果を展示する大学側の意見とが対立し紛糾していく。芸術祭実行委員になっていった僕は否応なく、そこに巻き込まれていった。毎夜のように議論が続いていた。社会からは学園紛争と呼ばれていたが、私たち学生にとつては「大学民主化と自主カリキュラムに向けての闘い」になっていたのである。

いま大学教育は、企業や社会の要請に応える人材教育の場である…のが当然であるかのようにいわれている。就職する際には、基本的な知識と技術の習得ができていくことが望ましい。しかし、未来の地球社会を考えてみると、SDGsで提起されている地球環境問題や持続可能な社会の創造、グローバルサウスや経済格差の拡大、大量生産や大量消費など地球社会を脅かすさまざまな問題、そして今ある戦争について、どのようにその解決に向けて学んでいるのだろうか。

「国家とはなにか」その存在を考える

私にとつては愚かしい…とも言える体験があった。一九七〇年のベトナム戦争、アメリカ軍によるナパーム弾の砲撃、多くのベトナム人が傷つき死んでいった。戦争から逃れ、小舟で荒れる海に乗り出したボートピープルと呼ばれる人びと。国家による弾圧や迫害から逃れようとする人びと。遠くはなれた日本でも《ベトナムに平



少数のクラスメートとは50年後のいまも交流が続いている

でも色あせること無く歌い継がれている。『高校三年生』を皮切りに『修学旅行』『学園広場』等だ。時々

歌は世につれ～

二十三話

元祖御三家

南市場 桐崎 長一

つれて、当初からはイメージチェンジしてきた。ロマンス、デュエット、メキシカンロックのような新しい曲調等々。その橋も八十歳になるのを機に今年が最後のこと。昭和三十五年にデビューし六

舟木の特長としてきたのだ。最近最終回公演としてテレビの特別番組があり、代表曲が歌われた。似たような曲が多いとの印象があったが、本当に懐かし



売したのだが、これで最後かと思うと淋しい限りだ。吉永小百合とのデュエット曲『いつでも夢を』は昭和の国民的名曲で、今耳にしても全く新鮮みを感じない。今後もうつと歌い継がれていく欲しいと思う。御三家よ永遠なれとエールを送りたい。

こちら資料館 資料館特別展 「林原遺跡説明会」

林原地籍に於ける村の宅地分譲に伴う発掘調査が終わり、去る四月十六日に現地説明会が行われました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず地元を中心に二十名を越す方々が集まり、調査を担当した酒井幸則先生から熱のこもった説明を聞きました。

今回は、縄文時代の住居跡が五棟、弥生時代の住居跡が一棟、ほぼ完全な形で発掘され、太古の昔からこの地に人が住み続けていたことが証明されました。

特に注目すべきは、縄文時代の五棟のうち四棟までが、縄文時代中期の中頃(約五千年前)のものと推定され、伴野原遺跡や地蔵道の三島遺跡等で発掘された縄文時代の住居跡(縄文中期後半・約四千五百年前)より更に五百年ほど古いものであるということでした。



(資料館主任 唐澤武彦)



泉龍院の知久霊神

谷に侵入した。伊那谷の諸將はみな降伏したが、独り神ノ峰の知久氏は抵抗した。そこで武田は天竜の伴野河原を渡河して南堂付近で大激戦が行

われた。天竜を渡った敵は泉龍院を焼き、大宮神社付近でも小競り合いが行われた。この戦いで知久氏は大敗して神ノ峰へ敗退した。南堂には知久勢の大將をはじめ、多くの墓がある。

河野産業組合敷地に知久氏の兵士が討ち死にしたというこもまんざらフィクションではない。敷地整備のときに祠を泉龍院裏の墓地群のいちばん高いところに祀り知久霊神と称し、いまでも春秋の祭りを行っている。



(豊丘村民話集・第貳集 (昭和五十三年)より) 文責・壬生雅穂

大正のころ、河野の産業組合は今の農協事業所のところにあった。黒い煙突が空高くそびえて黒々と煙を吐き、朝晩鳴る汽笛の音に、わしらの繭が生糸になってアメリカに行くのだと、村の人は活気づいていた。

今から五百年前、甲斐の武田信玄は京都へ攻め上って天下に号令せんと、まず伊那谷に侵入した。

そこで組合はさっそく祠を買ってきて朝晩拜んだ。そうしたら病気はいつとなしに治ってしまった。

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

知久霊神 小沢万里

そのうちに妙なことが起こった。役人が次々と病気になるのである。そうすると若い女の人たちの多い工場内に妙な噂が立ち始めた。何かが祟るのだと、次から次へと広がった。

そこで吉田の巫女を頼んで占ってもらった。そうしたら昔、武田と知久の戦に知久の兵士が一人、ここで討ち死にをしている。その霊も祀らずに工場を建てた勢の人が踏みにじっているのだという。

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP マッサージの専門家に教わった自分できる「ぼぐしの技」をマンガで紹介しています。「気持ちが悪く」「頭痛、めまい、肩こり」など、目的別に掲



八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

載され、自分にあつた「ぼぐし」がすぐに見つけられます。「足首を包むように持ち、ふくらはぎを四本の指で、膝裏までさすり上げる」など説明も丁寧です。簡単で、毎日つづけられそうな「ぼぐしの技」が満載です。

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

ヒマラヤ遠征を繰り返して、世界中を旅する写真家が綴る、旅のエッセイ集です。海拔〇mから三日間かけて登った富士山、エベレストのベースキャンプ(海拔五三〇〇m)のテント内でくつろぐ野良犬、悪天候で登頂を断念したK2など、著者の経験や、自然写真への想いが語られています。未知の世界を旅したくなる一冊です。

俳句 短歌

海鼠壁そびらに燃ゆる花石榴 桜桃忌 今年は富士を訪ねむと 夏至の夜介護会議のあれこれと 九頭龍を祀り代掻き始まりぬ 初堂包む両手の見送りぬ 父の忌の戸口を走る蜥蜴かな 段丘の夕日彩どる代田かな 父の忌の面影草を桶にみる 雨雲レーダー刻と見つめる田植人 竹秋や有終の美を竹の花

子どもたちに、自然や文化に触れ地域への愛着を感じてもらえるよう、昨年から夏休み子どもウィークスを開催しています。 公民館では、その中で四つのイベントを企画しています。

★ゆめスタ (八月七日〜九日) ゆめあるてに集まって、涼しい環境の中で集中して勉強しましょう。みんなできり組めば、夏休みの宿題もあつという間に終わらせるかもしれません。

★星空観測会(八月十三日) ペルセウス座流星群が見られる夜です。流れ星を探しながら、星空のお話を聞いてみましょう。当日は晴れることをお祈りしています。

★武田信玄狼煙上げ (八月二十八日) 武田信玄も使っていた、昔ながらの通信方法「のろし」をあげて、歴史ロマンを感じてみましょう。この日は高森町や喬木村でも「の

方でも発掘例としては少ない部類に属することです。また、一緒に発掘された土器も、その後のものに比べて装飾性に富んでいる特徴があるとのことでした。 さらに、弥生時代の住居跡の存在から、木門寄りの段丘崖の近くでは、浸み出る水を使って稲作が行われていたのではないかと考えられます。

いずれにしても、今回の発掘から、林原の地が昔から豊かな場所であったことが想像されます。

子どもたちに、自然や文化に触れ地域への愛着を感じてもらえるよう、昨年から夏休み子どもウィークスを開催しています。 公民館では、その中で四つのイベントを企画しています。

★親子の読書ひろば (八月二十七日) 親子で本を読む時間は、子どもたちの豊かな心を育ててくれます。時にはゆつたりと流れる時間を感じて、本の世界を楽しみませんか。

★野田平蛇川溪谷沢あるき体験ツアー(七月三十日) 蛇川の清流を歩いて、ポットホールまで向かいます。お申込みはとよおか総合型地域スポーツクラブまで。

★自転車教室/サイクリング (八月十一日) 自転車に乗れない子向けには自転車教室で、乗れる子向けにはサイクリングで、自転車の楽しさを感じましょう。お申し込みはとよおか旅時間まで。

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『地上に星座をつくる』 石川 直樹(著) 新潮社

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

『ひとりぼぐし』 崎田 ミナ(著) 日経BP

『移動図書のご案内』 八月の移動図書 一日(火) 伴野勤労者福祉センター 四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時〜九時

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.234

タチアオイ
(アオイ科)



今月は七月五日に撮影したタチアオイが主人公。なぜ、撮影日まで書いたか。それは、梅雨入り頃に咲き始め、梅雨明けと共に花期が終わると言われているから。頭頂部までは一致するだろうか。心配なさそうです。タチアオイの開花時期と梅雨の時期は偶然重なっただけのようです。

モリアオガエルの産卵と梅雨の時期との直接的な関係とはちがうようです。話をセミに移します。本格的な調査もしないままにハルゼミとエゾハルゼミの時期は終わって、ニイニゼミとアブラゼミの時期になりました。以前に書いたかもしれないですが、私にとって最後のアブラゼミ大量発生の子供の年。そう予想しているのです。

(山田 拓)

公民館第四分館では六月十八日に夏季スポーツ交流会と銘打ちましてマレットゴルフ大会をアカシマレットゴルフ場において無事開催することができました。今回の開催については厚生労働省により新型コロナウイルス感染症が五月八日をもって五類感染症に移行した事もふまえた上での開催となっています。



当日は薄曇りの過ごしやすき天気のもと、参加者は十一名と新型コロナウイルス感染症の影響もあり昨年と比べ減少しています。しかしながら今回は公民館員も一緒に

参加させて頂く事で、今まで経験がない人も先輩方に教えて頂きながら一緒に回り楽しむ事ができました。但し今回は計画の時点で回るコースをグループ毎に選定させて頂いた事により難しいコースを回った方とそうでない方と分かれてしまう課題が残りました。参加者の皆様に深くお詫び申し上げると共に次回開催にむけて公平により楽しめるよう公民館で今後も協議を重ねていきたいと思ひます。

公民館第四分館と致しましては新型コロナウイルス感染症の早期収束を祈念申し上げると共に、以前と同様の競技が再開できる様今後も努力して参ります。

梅干しは、土用の頃に天日干しができるように仕込むのが目安となっています。梅干しに多く含まれるクエン酸は、疲労回復やスタミナ保持の効果が有ります。塩分量はお好みで作ってみてください。五、六%の塩分量でもおいしくできます。また、一緒に漬けたしそは、カラカラに干して粉末状にすれば、自家製のゆかりになります。白梅酢や赤梅酢はお料理にも使えます。

長野県の郷土食であるきゅうりの粕もみは、きゅうりがたくさんとれるこの時期によく食べられるです。きゅうりの粕もみに使われる塩いかは、いかを茹

で塩漬けにしてあるもので、海のない長野県中南部地方の伝統食です。県外のお客様からは大変珍しがられ、お土産で買って帰る方もいらつしやいます。

品種により、七月中旬から八月中旬くらいまで、「あかつき」や「川中島白桃」が収穫されます。

桃の収穫

きゅうりの粕もみ

きゅうりの粕もみ

きゅうりの粕もみ

きゅうりの粕もみ

きゅうりの粕もみ

きゅうりの粕もみ

きゅうりの粕もみ

きゅうりの粕もみ

きゅうりの粕もみ

きゅうりの粕もみ

第4分館
マレットゴルフ大会
体育部副部長 元島功雄

参加させて頂く事で、今まで経験がない人も先輩方に教えて頂きながら一緒に回り楽しむ事ができました。但し今回は計画の時点で回るコースをグループ毎に選定させて頂いた事により難しいコースを回った方とそうでない方と分かれてしまう課題が残りました。参加者の皆様に深くお詫び申し上げると共に次回開催にむけて公平により楽しめるよう公民館で今後も協議を重ねていきたいと思ひます。

とよおか
ふるさとの
れしぴ
7月

【郷土行事食】
梅干し
きゅうりの粕もみ

【農業の行事】
桃の収穫
きゅうりの粕もみ

【飯伊ミニバス新人優勝大会】
優勝おめでとう!!
とよおかミニバスケットボール教室
代表 仲田正徳

「豊丘村でバスケットがしたい」子供達の思いを何とか実現しようと、このとよおかミニバスケットボール教室を発足してから数年経過します。これまで多くの方々の協力を得て、少しずつではありますが活動の幅も大きくなつてきており、今、豊丘村・喬木村から男女三十五名程が日々練習し励んでおります。今年度六年生として教室メンバーを牽引してくれているメンバーは七名。彼らが中

心となり、六月四日飯伊地区の新人優勝大会で初優勝を遂げることができました。本当に彼らには感謝の言葉しかありません。本当におめでとう！

ミニバスはとても楽しいスポーツです。新しい仲間も日々募集中です。新しいことにチャレンジしよう！まずは体育館へGO！



色着いた葉でも堂々と見せるか隠すことで意味合いが違ってきます

雨後の壁に枝垂れかかったツツジの赤を強調しました。晴天ではコンクリート壁が明るくなり花も弱くなるため、雨に濡れてトーンを落とした背景としました。時間帯や天候も考慮すれば身の回りのどこにでも被写体は存在するのです。次はどこにでもある小川の中に、

水に埋れてゆく様を捉えています。前の二点の葉の位置は半分以上下にありま

水に埋れてゆく様を捉えています。前の二点の葉の位置は半分以上下にありま

水に埋れてゆく様を捉えています。前の二点の葉の位置は半分以上下にありま

水に埋れてゆく様を捉えています。前の二点の葉の位置は半分以上下にありま

写真とは字のごとく見たままを写し取るのが本来の役目ですが、写真作品となるここに創作することが付加されます。飾る写真にするためにさりげなく場を和らげるこのできる作品について見ていきましょう。

●主役（自分が撮りたいものをメインとして取り込む）

作画方法はいかに主役だけをシンプルに表現するか、素材の大きさも大きすぎない程々のサイズにて表現することで色であつたり形が主張されます。次の写真は

絡まった一枚の葉ですが、色温度（ケルビン）を低く抑えて青味に振りさらに太陽の光の光軸を揺らして味を出しています。なんでもない川底でも色を着けることで新鮮さが出ました。同じ青系でも色温度を細か

く変えることで寒さや暖か味を感じとれます。一面に水の池に落ちた葉っぱ、溶けたり凍ったりして徐々に

水に埋れてゆく様を捉えています。前の二点の葉の位置は半分以上下にありま

狙うよりも斜めから撮ることとで立体が表現できます。身の回りを見直しましょう。フォトマスター級 宮下正弘